



初心
忘るべからず

羽生田 3号だより



自由民主党群馬県参議院
比例区第八十二支部

羽生田たかし 国会事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館319号室 TEL:03-6550-0319 FAX:03-6551-0319	羽生田たかし 群馬事務所 〒371-0022 群馬県前橋市千代田町1-8-1 群馬メディカルセンター別館3階 TEL:027-219-2082 FAX:027-219-2083
---	--

ごあいさつ

第186回通常国会が6月22日に閉会いたしました。
1月召集から150日間の会期でしたが、厚生労働省関係の法案は下記の9本が成立し、1本は継続審議となりました。
厚生労働委員会での各法案の審議では度々質問に立ち、特に医療事故調査制度の創設における問題点の指摘や規制改革会議が提案していた「選択療養」の危険性を指摘し、導入反対を強く求めました。

- ◇地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律(医療・介護の一括法)
- ◇改正雇用保険法
- ◇難病の患者に対する医療等に関する法律
- ◇改正児童福祉法
- ◇改正次世代育成法
- ◇改正政府管掌年金事業等の運営の改善のための国民年金法
- ◇改正短時間労働者の雇用管理改善法
- ◇改正医薬基盤研究法
- ◇改正労働安全衛生法

この他、医療関連では、「日本医療研究開発機構法」「健康・医療戦略推進法」も成立いたしました。
「日本医療研究開発機構法」の審議においては内閣委員会でも質問にも立ち、問題点の指摘を行いました。
また、議員立法では、「国民が受ける医療の質の向上のための医療機器の研究開発及び普及の促進に関する法律」など所属の議員連盟を通じて成立に向けた議論で意見を述べて参りました。
予算委員会や厚生労働委員会など閉会中審査が行われ、上記議員連盟での視察や平成27年度予算概算要求基準の党内議論も始まりましたので、閉会中ですが休む間もなく国会活動と地元行事、全国の医師会訪問で飛び回っております。
今後も、国民が安心して医療を受けることのできる環境づくりに全力で取り組んで参りますので、引き続きのご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

参議院議員 **羽生田 俊**

世界遺産登録 富岡製糸場

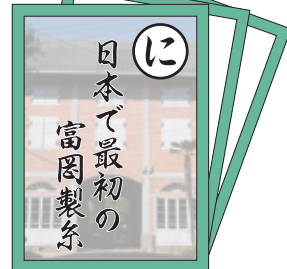


画像提供 富岡市・富岡製糸場

「富岡製糸場と絹産業遺産群」として、国内18番目の世界遺産(文化遺産としては14番目)に登録されました。群馬県人の一人として心から嬉しく思っております。



↑参議院議員の同期の先生方をお招きして見学会も行いました。



↑上毛カルタより 画像提供 富岡市・富岡製糸場

羽生田と国会を歩こう!

国会議事堂の見学や参議院議員会館の羽生田事務所へ是非おいでください。
本会議や委員会も傍聴できますので、事務所宛てお問合せください。



6月6日 前橋市勝山小学校



6月21日 市川市医師会

主な活動 (2014年)

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------|
| 4月 14日 大島郡医師会、鹿児島県医師会訪問 | 6月 28日 日本医師会長選挙報告会、新執行部発足 |
| 20日 沖縄県医師会訪問 | 30日 国際製薬企業戦略グループにて講演 |
| 23日 全国医師国民健康保険組合連合会代表者会にて挨拶 | 7月 1日 滋賀県医師会訪問 |
| 24日・25日 世界医師会東京理事会 歓迎レセプション・晩餐会 | 2日・3日 神奈川県都市医師会訪問 |
| 27日 長野県医師会館竣工記念祝賀会 | 5日 北九州市若松区医師会創立100周年記念祝賀会 |
| 30日 重監房資料館開館記念式典(草津ハンセン病診療所栗生楽泉園内) | 6日 岩手県医師会総会・懇親会 |
| 5月 10日 群馬県人会連合会総会 | 7日 栃木県医師会新役員との懇談 |
| 17日 東京都眼科医会創立100周年記念祝賀会 | 9日 日本眼科医会プロジェクトビジョンバン懇親会 |
| 21日 日本保険薬局協会定時総会懇親会 | 12日 千葉県東葛地区医師会医療協議会にて講演 |
| 22日 日本薬業政治連盟懇親会 | 15日 ドクターヘリ安全運航10万回達成記念祝賀会 |
| 24日 第68回群馬県植樹祭「感じよう 緑のやさしさ 大切さ」 | 17日 佐賀県医師会理事会にて国政報告 |
| 25日 東京医科大学医学部医学科同窓会総会・懇親会 | 19日 全国有床診療所連絡協議会総会岐阜大会 |
| 26日 千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式 | 東京医科大学応援団50周年パーティー |
| 6月 2日 群馬県町村議会議長会懇親会 | 23日 福島県医師会常任理事会にて国政報告 |
| 6日 群馬テレビ「私の国政報告」番組収録(6月26日放送) | 24日 埼玉県医師会執行委員会にて国政報告 |
| 9日 日本鍼灸師連盟総会 | 26日 奈良県医師会県都市区会長会議 |
| 14日 関東甲信越眼科学会懇親会 | 27日 石川県医師会医療功労者表彰式 |
| 15日 日本網膜色素変性症協会(JRPS)群馬支部総会 | 30日 岡山県医師会理事会にて国政報告 |
| 21日 自民党茨木市支部大会にて講演 | 31日 福岡県医師会理事会、福岡市医師会理事会にて国政報告 |
| 大阪府茨木市医師会懇親会 | |



今月の一句 ※皆様より一句お寄せください。

岩盤に
ドリルで穴をど 政府目く
骨太の骨を
斧で砕くと 羽生田目く
昼食は
病院そば屋で流し込み
医療政策で走る羽生田
〜日刊薬業記事より〜
〜秘書所感〜



俊翔会(しゅんしょうかい)のご案内

羽生田たかしの政治活動を支援するための後援会「俊翔会」へのご入会をお願いいたします。
目的:我が国における社会福祉の発展と国民生活の質的向上を目的とし、羽生田たかしの政治活動を支援するとともに、会員相互の親睦を深めることを目的とする。
会費:年10,000円(一口)

お問合せ先: 俊翔会事務局
東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館319号室
Tel.(03)6550-0319 / Fax.(03)6551-0319



羽生田たかしオフィシャルサイト
<https://www.hanyuda-t.jp/>

f 羽生田たかし 検索

公式アカウント
@hanyuda_takashi

メールマガジン配信中
info@hanyuda-t.jp/



参議院委員会質問一年間の実績

- 平成25年11月7日 厚生労働委員会《生活保護法改正案について》
- 28日 厚生労働委員会《プログラム法案について》
- 平成26年3月12日 災害対策特別委員会《群馬県内における大雪被害視察後について》
- 17日 厚生労働委員会《平成26年度予算、新基金のあり方等について》
- 4月8日 厚生労働委員会《労働安全衛生法改正について》
- 5月8日 厚生労働委員会《医薬基盤研究所法について》
- 13日 内閣委員会《健康・医療戦略推進法案及び独立行政法人日本医療研究開発機構法案について》
- 6月5日 厚生労働委員会《医療介護法について》



平成26年5月8日 厚生労働委員会 質問要旨

医薬基盤研究所法の一部を改正する法律案について

基盤研究が十分に臨床に活用できるような体制をつくり、不正が起きないように透明性を確保して研究の質を担保することが重要であり、さらには研究成果の評価を適切に行える第三者機関が必要ではないかと指摘しました。



平成26年5月13日 内閣委員会 質問要旨

健康・医療戦略推進法案及び日本医療研究開発機構法案について

◇どのような体制を構築し、予算の戦略的・重点的な配分として重点項目を誰がどのようなプロセスと判断基準によって決定するのか、PD(プログラムディレクター)やPO(プログラムオフィサー)に相応しい人材をどのように確保し、そのマネジメント力をどのように評価していくのが重要になると指摘し、利益相反等が起きないように透明性、公平性を保った選定を行うよう求めました。

◇医療において、規制改革会議が提案している「選択療養」は、安全性、有効性がどのくらい担保されたものなのか質し、後藤田内閣府副大臣より「安全性、有効性は絶対的なものであり、**選択療養はいわゆる混合診療の全面解禁とは全く性質の異なるもの**」との明確な答弁を引き出しました。結果として「患者申出療養」と名称を変更。

※5月25日付読売新聞の成長戦略取りまとめに向けた規制緩和の論点整理の記事のなかで、いわゆる混合診療の拡充においては「安全性、有効性を確保することが大切」と、羽生田のこの質問が与党の考え方として紹介されました。

平成26年4月8日 厚生労働委員会 質問要旨

労働安全衛生法の一部を改正する法律案について

◇官公庁や民間の事業所でも労働者の健康管理は人事課が行っていることについて、健康情報のキャリアへの影響やパワハラの問題などから、労働安全衛生法による産業医の役割を適切に発揮し労働者の健康増進を図るには、官公庁がまず率先して人事課とは別の健康管理室を創設してその効果を民間に示していくべきと主張しました。

◇ストレスチェックについては、項目の数や内容はなるべく簡易でよく、いかに労働者にこれを受けさせ、いかに産業医につなげ、いかに適切な専門医につなげるかが重要であり、本人の「気付き」を促すのはもちろん、事業所の周りの方々、特に上司が気付く仕組みを考えていく必要があると指摘しました。

◇ほとんどの産業医が専任ではなく兼務である現状から、ストレスチェックの導入により負担が増大しないよう配慮もお願いしました。

平成26年6月5日 厚生労働委員会 要旨

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律案(医療・介護の一括法案)について

◇医療事故調査制度創設の問題点を取り上げて、産婦人科の先生方がご心配の医療事故の対象となる死産の定義について質し、厚生省医政局長より「人工死産は当然含まれないが、自然死産でも、妊娠中の診療・医療行為で万一それによって予期しなかったけれども残念ながら死産してしまったという場合には対象になり得るものもあるのではないか。今後、死産に限らず、具体例も含めながらガイドラインの中でしっかりと判断していただけるような形でお示しをしていきたい」との答弁を得ました。

◇先の内閣委員会に続き、この厚生労働委員会でも再度、保険外併用療養費制度の新たな仕組みの一つとして規制改革会議が提案している「選択療養」の問題に触れ、内閣府副大臣より「選択療養制度は、エビデンスに基づく安全性や有効性があることを申請の前提条件としており、合理的な根拠が乏しいものや疑わしい医療は除外する仕組みだ」との確認を得ました。

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律案の概要

趣旨
持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律に基づく措置として、効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するとともに、地域包括ケアシステムを構築することを通じ、地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するため、医療法、介護保険法等の関係法律について所要の整備等を行う。

概要

- 新たな基金の創設と医療・介護の連携強化(地域介護施設整備促進法等関係)**
 - ①都道府県の事業計画に記載した医療・介護の事業(病床の機能分化・連携、在宅医療・介護の推進等)のため、消費税増収分を活用した新たな基金を都道府県に設置
 - ②医療と介護の連携を強化するため、厚生労働大臣が基本的な方針を策定
- 地域における効率的かつ効果的な医療提供体制の確保(医療法関係)**
 - ①医療機関が都道府県知事に**病床の医療機能(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)等を報告し、**都道府県は、それをもとに**地域医療構想(ビジョン)**(地域の医療提供体制の将来のあるべき姿)を医療計画において策定
 - ②**医師確保支援**を行う地域医療支援センターの機能を法律に位置付け
- 地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化(介護保険法関係)**
 - ①在宅医療・介護連携の推進などの**地域支援事業の充実**とあわせ、**全国一律の予防給付(訪問介護・通所介護)を地域支援事業に移行し、多様化** ※地域支援事業：介護保険財源で市町村が取り組む事業
 - ②**特別養護老人ホーム**について、在宅での生活が困難な中重度の要介護者を支える機能に重点化
 - ③**低所得者の保険料軽減を拡充**
 - ④**一定以上の所得のある利用者の自己負担を2割へ引上げ**(ただし、月額上限あり)
 - ⑤低所得の施設利用者の食費・居住費を補填する「**補足給付**」の要件に**資産などを追加**
- その他**
 - ①診療の補助のうちの**特定行為を明確化**し、それを手順書により行う看護師の研修制度を新設
 - ②**医療事故に係る調査の仕組み**を位置づけ
 - ③医療法人社団と医療法人財団の合併、持分なし医療法人への移行促進策を措置
 - ④介護人材確保対策の検討(介護福祉士の資格取得方法見直しの施行時期を27年度から28年度に延期)

施行期日(予定)
公布日。ただし、医療法関係は平成26年10月以降、介護保険法関係は平成27年4月以降など、順次施行。

自由民主党内での活動

自民党政調の部会やプロジェクトチーム、参議院自民党政策審議会においても積極的に発言をして参りました。
 <役職> 広報本部報道局次長 / 厚生関係団体委員会副委員長 / 生活安全関係団体委員会副委員長

生殖補助医療に関するプロジェクトチーム



4月24日会議では、特定生殖補助医療に関する法律案の取りまとめの議論を行いました。
 本法案は与党調整のため今国会での提出は見送り、秋の臨時国会への提出を目指すことになりました。

参議院自民党政策審議会



5月21日会議では、終末期医療、死因究明、生殖補助医療について説明聴取が行われ、発言の機会には医療現場で懸念されている点についての指摘を行いました。

社会保障制度に関わる特命委員会 医療に関わるプロジェクトチーム



5月16日は国保の持続可能な制度設計について、6月12日は保険者の役割について、7月4日・10日は関係団体からのヒアリングと、社会保障制度についての議論を継続的に続けています。

政調 厚生労働部会



7月10日会議では、平成26年版厚生労働白書(案)、健康・医療戦略等、脱法ドラッグの現状とこれまでの取組について議論を行いました。

議員連盟等での活動

数々の議員連盟や勉強会に参加して活動の幅を広げて参りました。「医療基本法」や「成育基本法」など新たな議員立法の成立を目指して立ち上げ中の議員連盟では事務局として積極的に働いております。

【主な所属議員連盟】

- ・カトリア会
- ・国民医療を守る議員の会(幹事)
- ・医療政策研究会(事務局次長)
- ・尊厳死法制化を考える議員連盟
- ・医師国会議員懇談会(事務局)
- ・成育基本法成立に向けた議員連盟(立ち上げ中)
- ・医療基本法法制化推進議員連盟(立ち上げ中)
- ・有床診療所の活性化を目指す議員連盟(事務局次長)
- ・今後のわが国の社会保障制度改革についての勉強会
- ・運動器の健康を増進させ健康寿命を延伸させる議員連盟
- ・大学病院を支援する議員連盟
- ・自治体病院議員連盟
- ・ワクチン予防議員連盟
- ・慢性呼吸器疾患対策推進議員連盟
- ・優れた医療機器を国民に迅速にかつ安全に届けるための議員連盟
- その他、計40議連に所属



4/18 慢性呼吸器疾患対策推進議員連盟設立総会



4/25 大学病院を支援する議員連盟



5/8 成育基本法成立にむけた議員連盟幹事会



5/20 国民医療を守る議員の会懇談会



5/22 尊厳死法制化を考える院内集会



5/28 自治体病院議員連盟



5/30 「子宮頸がんHPVワクチンについて」の勉強会



6/4 医師国会議員懇談会



6/19 有床診療所の活性化を目指す議員連盟総会



7/14 優れた医療機器を国民に迅速にかつ安全に届けるための議員連盟にて視察